

課題を、効果的に設定する

課題を効果的に設定

- 良いテーマは、良いアイデアを刺激する。
- アイデアが出にくい時は
「発案のテーマを、再設定する」
 1. シンプルに
 2. 具体的に
 3. 標準形「○○するにはどうすればいいか」に

1. シンプルに

1. 現実の、複雑な問題は、いくつかのシンプルな問題に分解し、最も大きなものについて、アイデアを出す。
2. のこった部分も、同様に、アイデアを出す。
3. 足し合わせて、元の問題についてのアイデアになるように、整える。
 - でも、大抵は、最も大きな部分について、出したアイデアを調整してやることで、元の問題へのアイデアが得られる。

2. 具体的に

1. 抽象的ものは、具体的なものにして発想する。
2. さらに別の“具体化”でも、発想する。
3. 出たアイデアのうち、“具体化”に起因する部分を、調整して、元の抽象的な課題をカバーするようにする。
 - でも、大抵は、1つの具体化テーマで、出したアイデアを調整してやることで、元の問題へのアイデアは想起できる。

3. 標準形に

発想力を促進するテーマ標準形に、あてはめる。

- 問題解決のテーマ

「○○するには、どうすればいいか」

- 企画系のテーマ

「新しい○○のアイデア」

※ **「○○について」**

というテーマ文章は、発想力を機能させにくい。

補足

- もちろん、テーマは必ずしも、こうでなければならぬ、というわけではありません。
- ただ、「引き出しやすいテーマ」を望む時には、思い出して、使ってみてください。